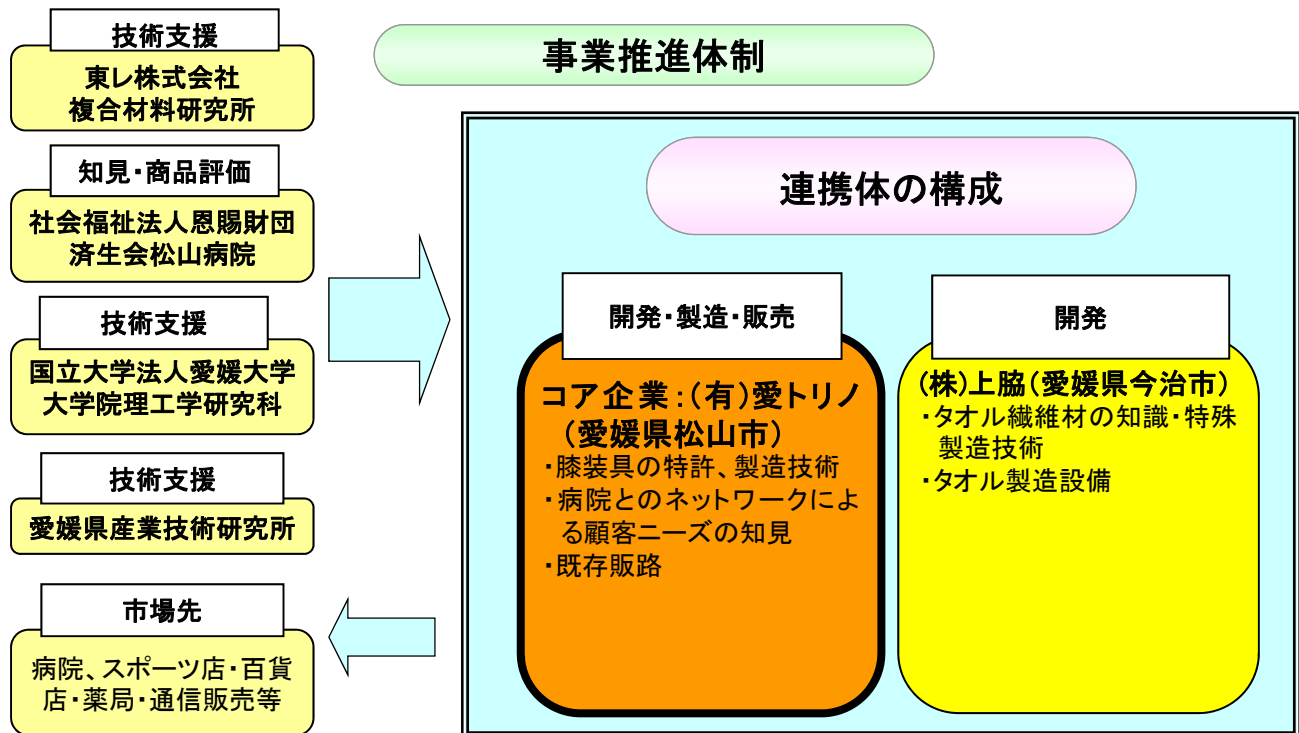


地域	愛媛県松山市	認定日	平成25年2月4日	7-24-028
事業分類	製造(その他の製造業)	テーマ分類	健康・福祉	

事業名: 膝関節症患者及び発症予備軍のための治療用及び予防医療用膝装具の開発・製造・販売

### ○事業概要(新規性、市場性等)

- ・ 本事業で開発を行う治療用及び予防医療用膝装具については膝関節症による歩行痛を緩和させるメカニズム(カム誘導機構)を採用し、素材をCFRP化する。加えて、タオル地に弾性繊維を織り込んだ新素材の内張りパットを開発することにより、従来はズレて当たり前という認識があった膝装具を改善したズレない商品を開発する。
- ・ 変形性膝関節症の有症者及び予備軍はレントゲン上では2,400万人、症状を伴うもの(有症者)に限定すると800万人、発症予備軍は1,600万人いるとされている。治療用膝装具については変形性膝関節症の有症者をターゲットとし、予防医療用膝装具については、発症予備軍をターゲットとしている。



### 支援予定メニュー

①補助金



治療用膝装具:3D



軽スポーツに使用できるサポーター状膝装具(イメージ)

## 連携のきっかけ、特徴

- ・ 有限会社愛トリノは、これまでに膝装具の組立、加工、販売を行ってきた経験と、自社で保有する特許取得の実績、済生会松山病院と連携を行ってきた実績を踏まえて、膝装具の特許、製造技術、病院とのネットワークによる顧客ニーズの知見、既存販路の提供を行う。本事業の商品の開発にあたり、「ズレ」や「蒸れ」等の問題点を改善する内張りパッドの開発を検討していたところ、公益財団法人えひめ産業振興財団から、革新的で前向きな開発意欲を持つ今治市内のタオル企業の株式会社上脇の紹介を受けた。同社は、三枚のガーゼを重ねて織ったタオル「菱花」を開発するなど、ジャガード織機を使った多重織の技術、実績を持っており、その多重織の技術を活用することで、タオル地に弾性繊維を織り込むことができ、かつ、シリコン材による表面加工を行うことで内張りパッドに弾性機能を付与することができるため、連携するに至った。
- ・ 株式会社上脇は、革新的で前向きな開発意欲を持ち、特殊技術の開発に努めてきた実績と新連携事業及び地域資源活用事業の国による認定を受けてきた実績を踏まえ、タオル繊維材の知識・特殊製造技術、タオル製造設備の提供を行う。

## コア企業の会社概要

企業名・代表者	有限会社愛トリノ 代表取締役 長谷川 學	
所在地	愛媛県松山市高砂町3丁目2番地15号	
創業	平成17年3月	
資本金・従業員数	300万円	2名
業種	医療用機械器具製造業(2741)	
TEL	089-953-3950	
FAX	089-953-3950	
ホームページ		
e-mail	inosan2200@lagoon.ocn.ne.jp	

## PR等その他の情報

- ・ 本事業で開発を行う治療用及び予防医療用膝装具については、カム誘導機構を採用したことにより、膝装具の動きに“ひねり”が加わった。このひねりは、健康な人の歩行に見られる正しい歩行であり、この動きを膝装具の使用によって誘導することができるので、膝関節症の改善効果が今まで以上に期待できる。
- ・ 予防医療用膝装具については、折りたたみ膝装具とサポーター状膝装具の2種類あり、デザイン性を加味したものを開発する。折りたたみ膝装具は、発症予備軍の人が日常の生活で使用することを想定している。また、サポーター状膝装具は、発症予備軍の中で軽いスポーツを楽しみたい人が、トレッキングやゴルフなどを行う際の保護用として使用することを想定している。